

おあしす



特定医療法人 南山会

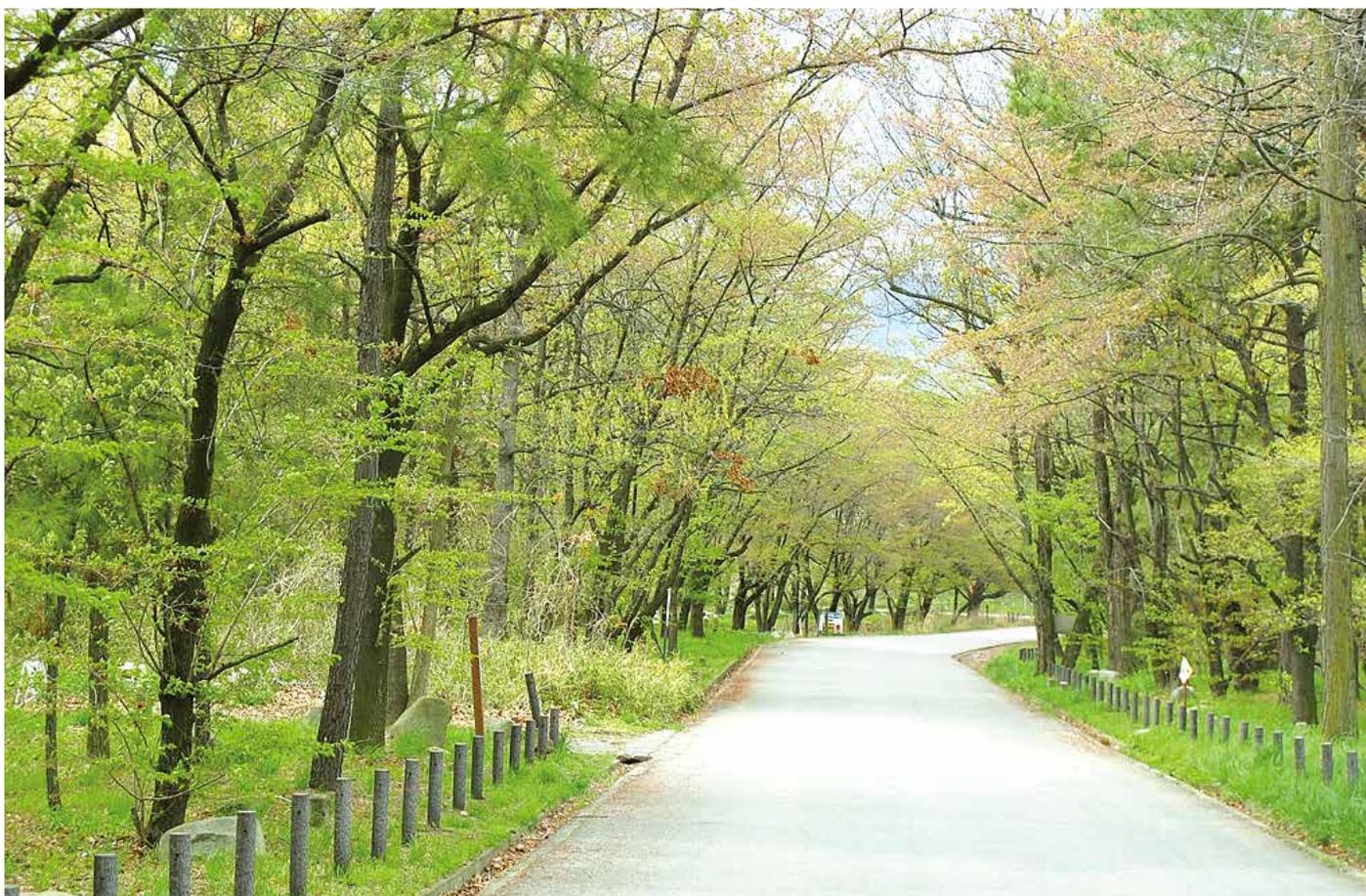
親切 安心 信頼

峡西病院・峡西老人保健センター・きづな
・アルプス訪問看護ステーション

2021

5

第35巻5号
(通巻405号)



金川の森は明治40年に起きた大水害をきっかけに笛吹川の支流、金川の水防林として整備されました。大正、昭和の時代に起きた水害の際には、被害を防ぐ大きな役割を果たしたと記録されています。いまは森林公園として、私のお気に入りの散歩道です。森はさくらの森、こもれびの森、スポーツの森、どんぐりの森、ふれあいの森、かぶとむしの森の6つの区域に分けられ、四季折々いろいろな表情を見せてくれます。私がとくに好きなのは新緑のころ。若葉の持つみずみずしさは周囲の空気まできれいになる感じがするし、身体がはずむような躍動感、そしてそういう気分に浸れる幸福感を与えてくれます。



峡西病院の理念

「その人らしさ100%」

峡西病院の方針

1
説明と納得の
医療

2
多職種連携

3
「こちよさ」の追求

4
社会参加の推進

令和3年度 南山会事業計画 (一部抜粋)

【関西病院】

◆精神科リハビリテーションを中心とした地域完結型医療

- ① 新入院数を増やせるよう医師・看護師の配置を整え、平均在院日数を適正化して医療の質を保ち病床稼働率を上げる。
- ② 診療要請に迅速に応じられるよう緊急対応医と入院担当医を配置し円滑に緊急対応をおこなえる体制にする。
- ③ 治療抵抗性統合失調症に有効とされているフロザピンを導入する。
- ④ デイケア利用や持続性抗精神病薬注射剤導入を目的とした入院を推奨する。
- ⑤ 地域の企業を中心にリワークプログラムの広報活動をおこない、企業から利用者を紹介してもらえ体制をつくる。

◆高齢者医療プロジェクトの推進

- ① 高齢者医療プロジェクトチームを始動し社会のニーズの把握と医療と介護の連携を円滑化するためのソフトウェアとハードウェアの検討を行う。
- ② 認知症治療病棟の機能を急性期〜回復期として、必要な場面で迅速に入院対応をおこなえる体制を整える。また十分な認知症リハビリテーションをおこなうことで在宅および施設介護に円滑に移行していく。
- ③ 高齢者医療において身体疾患の管理は必要不可欠であるため、認知症治療病棟に専任の内科医1名を配置する。

【関西老人保健センター】

◆2021年度介護報酬改定から読み取れるこれからの老健の要請に答えていく！

- (1) 訪問リハビリテーション事業を開始する。
- (2) リハビリ機能の強化として、言語聴覚士を採用する。また管理栄養士を増員する。リハビリ・口腔・栄養管理に強みのある老健を目指す。
- (3) 科学的介護システム「LIFE」での情報送信が求められる加算の取得を目指す。加算取得により提供サービスのバリエーションを増やす。

◆「関西老健の理念『優・友・結』の意味の理解とそれに見合うケアを実現させよう！

- (1) ケアの質の向上を図る。グループ活動のアフターを充実させ、その人に相応しいケアを検討し、統一したケアを提供する。
- (2) 研修受講を積極推奨する。高齢者権利擁護の意識高揚、ケア技術・接遇マナー向上、不適切ケアの芽を摘み取ることを目的とし、研修を受けやすい環境醸成に配慮する。
- (3) 法人の高齢者プロジェクトに参画し、法人が目指す包括的な医療システム構築の中で老健の在宅復帰支援機能やリハビリテーションがどのように提供できるか示していく。また、理想とする支援を提供するために必要なハードに関する提言を行っていく。

【アルプス訪問看護ステーション】

◆その人らしい生活への支援とQOLを高める働きかけの実践

- ① 『利用者の主体性』に重点をおき支援を行う。
- ② 個々にあったアセスメントモデルを用いた確かなアセスメント・評価を行ない、支援計画や看護記録に結び付ける。
- ③ 訪問看護ステーションの理念の再構築を行う。
- ④ 訪問記録の改善を行う。
- ⑤ 訪問看護サマリーの内容の精度を高める。
- ⑥ 訪問看護ステーション業務をスムーズに運営するために、現在のマニュアルの見直しを行う。
- ⑦ スキルアップのために事例検討会を2回行う。

◆地域連携の強化

- ① 在宅支援チームの一員として関係スタッフとの連携をより強化するために、担当スタッフが中心になって連携を行っていく。
- ② 市の認知症に対する地域福祉政策などに参画し、情報収集する。また当ステーションの経験を生かしながら、ケアを必要とする人たちに柔軟に対応する。

◆安心して訪問看護を利用できるような支援

- ① 金銭面の負担軽減のため利用できる制度を提供する。
- ② 医療保険と介護保険の狭間になつている利用者の支援の把握と情報提供を行う。

【きづな】

◆地域活動支援センターきづな館

- ① 地域住民や他施設と交流し、連携を強化する。
- ② 年間利用者数を4,425名以上とする(1日15人以上)

◆相談支援事業きづな

- ① 指定特定相談支援事業者として90名の計画相談支援を請け負う。
- ② 指定一般相談支援事業者として地域移行支援を請け負い、1名を退院につなげる。
- ③ 県補助事業の委託事業所として、ピアサポーターによる精神障害者地域移行支援を行なう。

◆グループホーム(定員14名)

- ① 入居者の健康管理に努め、健康診断を徹底する。
- ② 入居者ご家族の希望を確認し、今後の方向性を共有する。

◆アルプスファーム(就労継続支援事業B型)

- ① 1日平均利用者数18名以上とする。
- ② アルプスファーム拡大運営会議を設置する。
- ③ 就労支援学習会を開催する。

◆全体として

- ① 地域と医療の懸け橋として、地域にある障害福祉事業所としての役割を果たす。
- ② きづな職員を対象に研修会や事例検討会を開催する。
- ③ 各事業の事業内容や指針、あり方そのものを再確認し、今後の事業展開を検討する。

令和元年度 目標管理発表会

◆ 技能賞 ◆

リスタート病棟
清水 智彦

ユマニチュード技法のひとつである「立つ」。排泄介助時移動の際、寝たきり患者以外は手引き、立位を行なうことで患者の症状や身体機能の向上を図る。

設定理由

私自身平成30年度にユマニチュード正規研修を受講後、患者に対して技法を実施していたが、ユマニチュードの4つの柱のうち「話す・触れる・見る」の3つは日常の患者への関わりの中で心がけることができる。

しかし、「立つ」については患者自身の意欲を引き出す必要があるため難しさを感じていた。

「立つ（歩く）」が成立すること

患者自身に相乗効果を感じて欲しいと思った。

活動内容

- ①立位や歩行をする前に患者一人ひとりと歩行に適しているか靴の見直しを行なう。
- ②「立つ」への関わりとしてユマニチュード対応方法の学習会を行なう。
- ③学習会后、各グループより患者をピックアップして歩行、立位を実施していく。
- ④実施してから中間チェックとアンケートしていく。

結果

- ①靴の見直しを行なうことで、歩行が安定して転倒が減少した。通気性がよくなり、皮膚疾患が改善した。多数の患者の靴を変更できた。
- ②、③学習会を行なうことでスタッフの意識も変わったと感じた。歩行と立位を実施していくうちに課題もみつかった。体格のある患者、手引き歩行だと恐怖心があって後方に下がってしまうといった内容

であった。

病棟作業療法士と峡西老健理学療法士に歩行状態を見てもらい、アドバイスを受ける。

アドバイスや実施方法で歩行も二名介助より一人介助にて歩行することが出来た。実施方法については連絡ノートを使用して、情報の共有することが出来た。

④アンケートの結果

- ・身体、精神的に刺激となり生活のリズムを整えることができた。
- ・活動性や活気がみられるようになり、以前より患者の表情もよくなった。
- ・活動性の低下から起こる不眠や不穩にも効果が期待できる。
- ・生活場面で訓練を取り入れたことで患者の生活動作が車椅子から歩くことに変化し、本来のその人の生活動作に近づくことができた。

まとめ

ユマニチュード技法により患者と関わりをより持ったことで、活動性や症状が改善され表情も豊かになった。

スタッフの意識が変わり、患者への関わりがより丁寧になった。

また、歩行訓練を通して、患者と一緒に手をつないだり、背中を支えて歩行したりすることで患者との距離がより近くなり、寄り添った言葉掛けができコミュニケーションがふえたことを実感した。

多職種で訓練に取り組めたことで専門的な情報を得ることができ、患者のこともより深く知ることにつながった。

課題として今後もできるようにスタッフに働けることが大切だと感じる。



フレンズアート展

実行委員の役割を担った利用者さんは、企画運営を通して「少し、自信が持てた」「可能性が広がった」「自分で判断して動くことができた」「展示方法も様々あることを学んだ」「多様な見方をするのが仕事や生活に役立つ」という気づきや学びを得ました。フレンズアート展は、利用者さんが力強くなることにもつながりました。

多くの皆様が来場し、盛大に開催することができました。

ご協力頂いた、株式会社オキノ様、山梨アールブリュットネットワークセンター様、本当にありがとうございました。



精神科デイケア

3月25日(木)・26日(金)オギノリバーシティ専門店街通路にて、「フレンズアート展」を開催致しました。

南山会の利用者さん、患者さん、職員による様々なアート作品(85点、53名、6グループ)を展示することが出来ました。

精神科 デイケアだより

Q & A

* デイケアを利用する際に送迎はありますか？

- ★あります。
 - ★公共交通機関のご利用が難しい方、お一人で通うことに不安のある方に、車による送迎も行っております。
 - ★現在送迎の対象範囲は、おおむね病院より片道15分程度までとなっております。
 - ★待ち合わせの場所と時間を決めて、送迎車が同バス停方式を行っております。
 - ★電車やバスを利用して、公共交通機関で通う事もリハビリの一環と考えております。
 - ★安全を第一により良い利用法で、デイケアに通えることを考えております。
- ※ご不明な点がある場合はお問い合わせください。

プログラム紹介

目標志向型プログラム

「ジヨブチャレ」

- 【活動曜日】 水曜日 午後(毎週)
- 【活動場所】 ホームルーム2又はミーティングルーム2

【活動内容】

実際の仕事を想定した作業を体験します。自分の傾向や得意不得意を知る事で、働くことに活かしていきます。今までの取り組みは、窓ふき・清掃、商品の企画開発、文書添削、集中力を必要とする作業(パズル、刺し子)などです。

作業を体験することで、自分の強みや可能性に気づき、やりたい仕事ややりたい自分を見つけます。参加者が、お互いに良いところを見つけ合う魅力的な場でもあります。

- ・色々な作業が体験出来て楽しいです。
- ・目標に皆で取り組むことが良い学びになっています。
- ・自分の向き不向きがわかります。

スタッフより

興味のある方、見学や利用をお考えの方は、スタッフまで気軽にご相談ください。☎055-282-2151

* ホームページがリニューアルされました。ぜひ、ご覧ください。

【 峡西病院 リハビリのご案内 検索 】

ろうけん Times ★

今年も春祭りはコロナの影響で各階で行いました。

2階では風船バレーを行い、おやつはバイキング形式で、好きなものを選んで食べました。



本の紹介コーナー

今回は、アスピール病棟看護師 望月裕太さんにおすすめの本をお聞きしました！

本の題名：百姓貴族

(荒川弘／新書館／2009年12月11日(第1巻)～連載中)

●読んだきっかけは？

姉の勧めで、ハガレンこと『鋼の錬金術師』の作者が農業エッセイを描いていると聞いて読んでみました。

●おすすめのポイントは？

こちらは『鋼の錬金術師』で有名な漫画家：荒川弘さんが、実家の農家での体験を描いたエッセイ漫画です。実体験に基づいており、“農家あるある”が主な内容ですが『玄関先に猟師がおすそ分けで鹿の足をまるごと置いてくる』など農業経験のない人にとってはぶっとんだエピソードもあり非日常的な話も多く楽しめます。

その一方で、災害による被害や作物泥棒、時には家畜を犠牲にしなければいけない場面など、農家のシリアスな場面も淡々と描かれています。

この作者さんは『銀の匙』という農業高校をテーマにした漫画も出しており、その中でも自身が通っていた高校の経験を基に描かれています。興味のある方は合わせて読んでみてはいかがでしょうか。

特定医療法人南山会は常によりよい医療を行うことによって、地域社会に貢献することを目的として設立されたものである。職員は常に技術の向上に心掛けるとともに、知性を磨き品性を養い、自己の人間形成に努めるべきである。

■ 職業倫理

1. 患者の人格の尊厳と権利を尊重し、心のこもった対応をして信頼を得ること。
2. 最善の医療を提供するために、常に学術的知識と技術の習得に努めること。
3. 自らの義務と責任を自覚して人格を高めること。
4. 職場内外の医療専門職の権利を尊重すること。
5. 医療の公共性を重んじて地域社会に貢献するとともに、法規範を遵守すること。
6. 良質の医療を提供するために、自ら心身の健康保持と増進に努めること。
7. 精神障害者に対する理解を深め、精神障害者とその障害を克服して社会復帰をし、自立と社会経済活動への参加をしようとする努力に対して協力すること。

20代の頃は、努力して極め尽くした特技こそが趣味と想っていたが、30代になると「大したことじゃなくても、決して得意でなくても、好きなことは何でも趣味なんだ」と趣味の幅が広がってきたので、改めて好きなことを考えてみた。

基本的に美味しいご飯を食べていれば幸せ。今でも特技と言える趣味は生け花で、家の中に植物や花のある空間が好き。飼っているメダカが可愛い。部屋を好きなものだけで満たしていく断捨離も楽しい。

今年の冬はスノボにハマり、ひたすらエッジを効かせて滑る練習に没頭。スノボの行き帰りの車の助手席で工



ヴァンゲリオン鑑賞にハマり、解説動画で勉強した上で旧作アニメや新作映画を観て、物語を紐解いていくのが楽しい。春になり暖かくなってきたので、去年始めたマウンテンバイクを今年も再開。個人の意見だけど、スノボの重心のかけ方がマウンテンバイクと同じなので、冬はスノボ・春夏秋はマウンテンバイクを継続していけば、両方上達できて一石二鳥な予感。人生の目標で言えば、いつか仕事も趣味と呼べるようになれば、週5で趣味をこなしていることと同義なので人生が充実しているいなーと、夢見ている今この瞬間も趣味。

薬剤グループ 山中さやか

万華鏡

謙遜

南アルプス市から望む富士山は、夏はプッチンプリンの上部3分の1だけ。一方、静岡県側から見れば広い裾野の稜線が長くて美しい。冬は頂から麓に流れる雪模様は、どちらから眺めても、白い砂糖と生クリームを冠って、頂上からガブリと食いつきたくなる程、旨そうなケーキだ。清々しい朝の白い富士には誰もが畏

敬の念を抱く。

話は変わらないが、名は体を表わす。「彦」の語源は「白」「子」だ。「白」は太陽を表わし、「子」は学徳に優れ、容姿や才に秀でた男子を意味する。つまり「彦」とは太陽のごとく猛き益荒男中の「ますらお」且つ、学徳の才に恵まれた、立派で勇氣のある男の中の男を指す。「清」と組合せれば穢れのない、ピュアな心まで持った、正に男の極致を表わす。

「井」は「市井の人」の意。お高くとまつておらず、気楽に「会いに行けるアイドル」感満載の庶民派を表わす。「白」と組合せられれば普通の井戸ではなく、純粹無垢な、衛生的な水を供する、庶民に愛される特別な井戸を表わす事は想像に難くない。

狂歌「白河の清きに魚のすみかねて云々」や、清廉潔・月風清等の熟語や、冒頭の富士山の比喩にある如く「白」と「清」は相性が良い。つまり、説明した四字で命名された者は、ピュアなマインドと美しい容姿と逞しいフィジカルに恵まれながら、ツンツンせず大衆から圧倒的に支持される 宿命を背負う。俗人には、ちと耐え難い宿命だ。

「名にし負はば・・・」の宿命を課した両親に感謝している。それ以上、その期待に違わぬ人間に成長させた自分をほめてやりたい。それ故、私は自身の名前が大好きだ。

我慢する生活は続いていますが、当たり前前の生活は本当に幸せな事だと感じました。旅行、飲み会、早く行きたいなあ。短大の友達にも1年以上会っていないので早く会いたいです。

最後に、2年間広報委員会に携わりとても楽しかったと思えます。文章を書く事は苦手だったので不安でしたが、何とか乗り越えました。あつという間の2年間でした。

こちら編集室

広報委員会になり2年、最後のこちら編集室。毎回、何を書こうか悩みます。

新型コロナウイルスが流行し1年が経過しますが状況は変わらず、2回目の緊急事態宣言が発令され一時的に感染者は減少されましたが第4波が来ているように思えます。山梨も感染者が増加傾向。オリンピックはどうなってしまうのか。。。アスリートの方は開催されるのか、しないのか不安の中、選考試合を実施され、大変かと思います。

最近では水泳の池江璃花子選手には感動します。白血病になり選手生命も終わってしまうかもしれないという不安の中、回復し、オリンピック選考試合で優勝をして、オリンピックの切符を手にし、涙する池江選手には本当に感動しました。ぜひ、東京オリンピックは開催してほしいと思います。

(ちこ)

白井 清彦

関西老人保健センター施設長

今月の予定 5月

13日
時間外研修
「耐性菌の現状と対策」

19日
時間外研修「褥瘡」

26日
運営会議



今月は、法人企画部 池田さんの「わたがし」です。



わが家のペット



ビション・フリーゼ オスの2歳です。

※掲載は五十音順です。

新緑の ゴールデンウィーク 涼しい日
渡辺 あき

泣きじやくり 母の膝元 暖かい
西谷 祥子

行く人も 又来る人も 桜かな
塚原 光明

風光る 水仙の花々 庭に咲く
阪本みずほ

帰り道 見えた新緑 櫛形山
恵 風

寮庭の 花見の輪にて 微笑みて
桜の花の 散らした食事
大森真知子

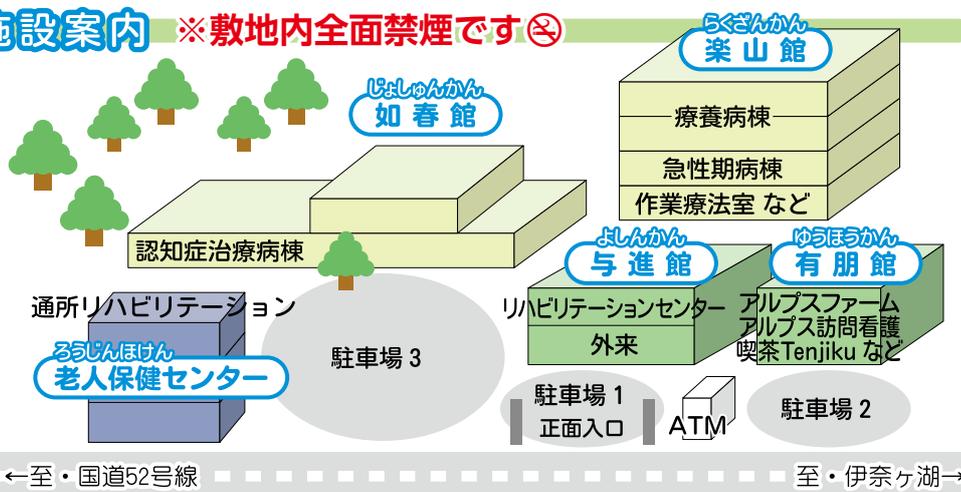
茶をのみて 一安心す さくらら観る
今福 和人

桜花 舞い上がる道 上り行く
石坂 克巳

今月もおあしすに素敵な作品が寄せられました。

おあしす広場

施設案内 ※敷地内全面禁煙です



交通案内

- JR中央線
甲府駅より車で40分
- JR身延線
東花輪駅より車で15分
- 中央高速
甲府昭和ICより車で30分
- 中部横断道
南アルプスICより車で5分
- 山交バス
甲府-南アルプス市甲西支所行き (十五所経由) 鯉沢営業所行き (西野経由) 鯉沢営業所行き 小笠原下仲町バス停徒歩5分

月刊おあしす第405号 1987/9/5創刊

発行所 〒400-0405 山梨県南アルプス市下宮地421
TEL 055-282-2151 FAX 055-284-4886
URL http://www.nan-zan.or.jp
中山貴、佐藤和加子、土屋真実、望月裕太、須田浩紀、河西崇子、塩澤千晶、櫻井千恵

特定医療法人 南山会

* 広報委員会 *

次回406号も お楽しみに!